



宮川ふとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

未来を担う子供たちに

オリンピックに触れる機会を!

6月県議会一般質問に初登壇

4月の県議選で、新たに合区された銚子市・香取郡東庄町選挙区から初当選した自民党の宮川太(みやかわ・ふとし)県議は、就任早々の6月定例会議の本会議場で、一般質問に登壇しました。宮川議員は、「先輩議員からご指導いただき、県政発展のためにまい進する所存です」と初々しく語りました。

質疑では、子供たちが東京オリンピック・パラリンピックに触れる機会をどのように創出するのかと、森田知事に質問し、また、銚子市沖での洋上風力発電の推進や、地域の道路問題など幅広く取り上げ、次世代につながる地域づくりへの思いを訴えました。宮川県議の質疑を特集しました。



県議会の本会議場に初登壇した宮川県議

オリンピック教室

宮川議員 東京オリンピック・パラリンピックについて、特に明日の未来を担う子供たちが、この歴史的なイベントに触れることで、何かを感じ、将来に生かしてもらえればと切に願うところ

です。ちょうど本日、私の地元である銚子市立第五中学校で、JOCオリンピック教室が開催されていますが、このような事業なども通して、これからの千葉県の未来を

銚子市沖で洋上風力発電を

森田知事 県では、JOCオリンピック教室や競技体験会などを通じて、子供たちがオリンピックや競技への理解を深める事業を展開してきたほか、本年度は県内で開催される国際大会を間近で観戦し、応援の仕方や競技の楽しみ方を体験・学習する取り組みを進めています。

来年は、事前キャンプや、各地域をめぐる聖火リレーを経て、県内で8競技が開催される大会の本番を迎えることとなります。

担う子供たちに、より多く大会にかかわってもらいたいと思うところです。

聖火ランナーの選考

宮川議員 オリンピックの聖火ランナーの選考においても、地域特性を十分生かすべきと思うがどうか。

森田知事 聖火リレーは、地域の特色を生かし、本県が多様な魅力を効果的に発信できる絶好の機会です。6月3日に開催した「千葉県オリンピック聖火リレー準備委員会」では、聖火ランナーについて、地域バランスに配慮するとともに、千葉らしさをアピールできるランナーを県内幅広い地域から選考するこ

といたしました。この考え方に沿って、県が選考する66名については、公募による選考に加え、独自に選考する枠を設け、市町村の意向も踏まえながら、千葉らしい聖火リレーとなるよう準備を進めてまいります。

銚子の魅力を世界にアピールする絶好の機会であるので、地元と連携しながら、聖火リレーを盛り上げていただくよう要望します。

「再エネ海域利用法」

宮川議員 銚子市沖の洋上風力発電事業の推進について伺います。最近では、洋上風力発電に注目が集まっています。本年4月、洋上風力発電を促進する「再エネ海域利用法」が施行され、さらなる推進が期待されています。一般海域における洋上風力発電については「再エネ海域利用法」の施行を踏まえた現在の状況はどうか。

「再エネ海域利用法」に基づき、国は長期間にわたって風車の設置が可能となる「促進区域」を指定することとしています。

本年2月、国が都道府県に対し、「促進区域」の候補となる区域に関する情報の提供を求めたことから、県では、導入の可能性を検討している地域の関係者に、情報提供について意向確認を行いました。

その結果、本年4月15日、関係者間で合意が整った「銚子市沖」について、海域や風況・水深等の自然的条件などの情報を国に提供しまし

「有望な区域」

宮川議員 洋上風力発電の導入促進に向け、県は今後、どのように対応していくのか。

「再エネ海域利用法」が施行された後、国が設置する「促進区域」を指定することとしています。

「協議会」が設置された場合には、県は、地元自治体や漁業関係者の方々とともに参画し、地域振興に資するよう、国等と調整を行ってまいります。

●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし 県事務所

〒288-0041 銚子市中央町18-11
TEL (0479) 26-3915 FAX (0479) 26-3916

次世代につなぐ「地域づくり」を!

銚子連絡道路など整備訴え



自席から再質問する宮川県議

市までの約5キロ区間で整備を行っており、令和5年度の供用を目指し、残る用地の取得を進めるとともに、橋梁工事や道路改良工事を実施しています。

宮川議員 県道銚子海上線清滝バイパスの整備

上線清滝バイパスの整備状況はどうか。県土整備部長 県道銚子海上線は、幅員が狭く線形が不良な箇所があることから、円滑な交通を確保するため、旭市岩井から清滝までの2・4キロ区間について、トンネルを含むバイパスの整備を進めています。

これまで用地取得を完了し、現在、トンネル本体と取付部の道路改良工事を実施しています。引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、令和2年度の供用を目指し、事業を推進してまいります。

八木拡幅など

宮川議員 私は、次世代につなぐ「地域づくり」の視点から、多方面からの道路整備は大変重要なことだと考えています。圏央道が、茨城県区間の全線開通により、本県を含め、東関東自動車道から東名高速道路まで、圏央道を経由して直結したことから、その利便性が向上してきています。

また、食料の生産拠点となっている海匝地域にとっては、地域で取れた農水産物を消費地へ提供するとともに、販路を拡大させていくには、安全・円滑で定時制のある道路整備が重要な課題です。そこで、高規格幹線道路へのアクセス道路について2点伺います。

1点目は、銚子連絡道路

の事業中區間及び国道126号八木拡幅の整備状況はどうか。県土整備部長 銚子連絡道路は、広域的な幹線道路ネットワークを形成し、銚子市や旭市方面と圏央道とのアクセス向上や、国道126号の交通混雑の緩和を図る重要な道路です。現在、横芝光町から匝瑳

国道356号バイパス

宮川議員 2点目として、国道356号銚子バイパスの整備状況はどうか。県土整備部長 国道356号銚子バイパスは、銚子市内の交通混雑の緩和や東関東道等へのアクセス強化を図るため、銚子市大橋町

から小船木町までの8.2キロで整備を進めています。これまでに、西側の銚子市芦崎町から小船木町までの3.3キロを供用し、現在銚子市長塚町から芦崎町までの約3キロ区間について、令和5年度の供用を目指

「千葉のさかなのイベント」

宮川議員 銚子漁港は、8年連続で水揚量全国第1位となり、水産業は地域の基幹産業となっています。全国有数の水産県として、千葉の魚の魅力をもっと知ってもらうこと、千葉の魚を食べるという文化を醸成するためには「千葉のさかなのファンづくり」が大切だと考えます。千葉のさかなファンづくりに、県はどのように取り組んでいるのか。農林水産部長 多くの消費者に県産水産物を応援していただくためには、千葉の

魚の美味しさを知り、身近な食材として感じていただくことが大切です。このため県では、知事のトップセールスの実施や、年4回の「ちばが旬!販売促進月間」における多くのイベントを開催、パンフレットやメディアを活用した情報発信などにより、消費者に県産水産物の魅力を積極的にPRしているところです。また、消費者が手軽に水産物を味わうことができ、調理に手間のかからないよう

う工夫された水産加工品の開発への技術支援や、小中学校等での生徒を対象とした料理教室など、千葉の魚に親しむ機会を提供するための「おさかな普及員」の派遣などを行っています。消費者の皆様にもさまざまな機会を通じて、千葉の魚を知ってもらい、食べてもらえるように積極的に情報発信を行います。

特別支援教育支援員

宮川議員 市町村立小中学校の特別支援教育支援員の配置について、県教育委員会の対応はどうか。澤川教育長 特別支援教育の財政措置については、国からの財政措置を活用し、各市町村が配置しています。国の財政措置は、この数年増加を続けていることから、県内の配置数も拡大し、昨年度には2179人と前年比149人の増加となっています。支援員の配置は、障害のある児童生徒の日常生活の介助や、学習のサポートを行う上で有効であることから、県としても国の財政措置の拡充について、引き続きしっかりと要望してまいります。

海匝地域の庁舎整備

宮川議員 海匝地域の庁舎整備について、現在の検討状況はどうか。また、今後どのように整備していくか。総務部長 海匝地域の出生先機関の庁舎は、単独の事務所が各市に分散して設置され、その多くが老朽化し、耐震性能が低い状況にあります。「県有建物長寿命化計画」では、令和4年度までに整備手法を決定し、着手を目指すとして位置づけられています。

この長寿命化計画の策定に当たっては、地元市等から地域の実情等を考慮した整備内容とするよう、要望書が提出されたことから、現在これらを踏まえ、庁内で検討を進めているところです。

地域の特性を生かした地場産業の振興